

会 議 録

| | |
|------|---|
| 会議名称 | 第5期幸区区民会議 第3回自転車事故ゼロ部会 |
| 日 時 | 平成26年12月17日(水) 18:30～20:00 |
| 会 場 | 幸区役所 4階講堂 |
| 出席者 | <ul style="list-style-type: none"> ●区民会議委員(五十音順) 阿部 法弘委員(部会長)、飯島忠男委員、大澤義和委員、押山兼二委員、 近藤多恵委員(副部会長)、佐々木繁委員、西野恭一委員 ●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村課長、加藤係長、佐藤係長、早川職員、 幸区役所危機管理担当 瀧村課長 (株)計画技術研究所 西原 |
| 欠席者 | 原紀代子委員 |
| 傍聴者 | なし |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ●議事次第 ●資料1 「自転車事故ゼロ部会」調査審議スケジュール(案) ●資料2 「区内道路の危険箇所の調査」の実施にあたっての確認事項 ●資料3 幸区における対象別交通安全施策の取組状況 ●資料4 中高年を対象とした自転車ルールの周知手法事例 ●資料5 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案) ●別紙 区内道路状況の調査報告 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・「区内道路の危険箇所の調査」の実施内容について ・「中高年を対象とした自転車ルールの周知手法」に関する現況の確認と課題整理 |
| 決定事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1 部会名の確認について <ul style="list-style-type: none"> ・部会の略称を、「GGO部会」とすることとした。 2 「区内道路の危険箇所の調査」の実施内容について <ul style="list-style-type: none"> ・4人ずつ2グループに分かれて実施することとした。 ・警察における過去の事故データを整理し、それをもとに現地調査を行うこととした。 3 「中高年を対象とした自転車ルールの周知手法」に関する現況確認と課題整理 <ul style="list-style-type: none"> ・座学形式ではなく実技を取り入れた講座とし、実施にあたっては、町内会・自治会、老人クラブ等に協力を求めていくことを確認した。 4 今後のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ・第4回部会 2月2日(月) |

| | |
|------------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・第5回部会 2月23日（月） ・第2回企画運営会議 3月 4日（水） ・第3回全体会 3月19日（木） |
| <p>会議の内容 及び 主な発言</p> | <p>1 部会名の確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部会の略称について、「GGO部会」とすることを確認した。 <p>2 「区内道路の危険箇所の調査」の実施内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料1、2について事務局から、別紙「区内道路の調査報告」について佐々木委員から説明をした後、調査の実施内容等について審議した。 <p>(1)調査の目的について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の把握が一番の目的である。自転車による交通ルールの違反が多い箇所、自転車が走りにくい箇所、自転車と人、自転車と車が接触しそうな箇所について、調査してはどうか。 <p>(2)調査で確認するポイントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自転車に関連する事故が起こった箇所を調査してはどうか。警察等から、過去の事故の場所、状況等データをもらうことはできないか。 ・「ヒヤリハット」の経験を、小学生等を対象に調査し、マップに落としてはどうか。 ・通学路の安全性について、保護者の関心がとても高いことを感じる。歩行者の事故等も含め、危険箇所のマップを作製し、学校、PTA、町会等へ提供してはどうか。 ・坂道など、スピードが出すぎる箇所について、調査してはどうか。 ・踏切付近は危ない。塚越踏切の近くの四叉路は自転車の逆走が多い。独自の通行ルールを設けてはどうか。 ・過去に事故があった箇所について調査するのがよい。 ・時間帯も重要である。通勤時間帯、買い物の多い時間帯等、対象を定める必要がある。 ・自転車が走りやすい道路は、ルールも守りやすい。走りやすさをポイントに調査してはどうか。 ・歩道のセミフラット化は、走りやすさの向上に有効である。 ・セミフラット型だと、宅配便等の車が歩道に乗り上げて駐車する、といったことも考えられる。 <p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒過去に自転車事故が発生した箇所について調査を実施する。 ⇒事務局から警察へ「事故の時間帯」「事故後の現場改善状況」「潜在的に事故発生の可能性のある箇所（クレームがある等）」について問い合わせる。 |

(3) 調査の担当について

【確認事項】

⇒調査地点から近在の人と、そうでない人が混ざった形で2グループに分けて調査を行う。

⇒調査日、時間帯は、各グループで決めることとする。今後の情報交換をスムーズにするため、委員間で連絡先を共有する。

(4) 調査の検証作業について

【確認事項】

⇒各グループで結果をとりまとめ、後日部会で集まった際に報告、議論をする。

3 「中高年を対象とした自転車ルールの周知手法」に関する現況確認と課題整理

●資料3、4について事務局が説明した後、取組の方向性について審議した。

- ・高齢者は、「今までできたから」という感覚で自転車に乗ってしまうが、体が思うように動かず事故になることが多い。実技を伴ったゲーム感覚の講習等で、自分の体が機敏に動けるかを体感してもらうのがよい。
- ・参加すると特典がある講習がよい。
- ・人集めが重要である。町内会、老人クラブとの連携や、社会福祉協議会のイベントで時間を借りて実施するのがよい（会食会でのビデオ上映など）。
- ・免許証の更新時に合わせて、ビデオ等で講座を行ってはどうか。
- ・高齢化が進んでいる河原町団地では、近隣に旧小学校のグラウンドもある。実技の講座の実施箇所として適しているのではないか。

【確認事項】

⇒座学形式ではなく実技を取り入れた講座とし、実施にあたっては、町内会・自治会、老人クラブ等に協力を求めていく。

4 今後のスケジュール

- 資料5について事務局が説明した。第4回部会は2月2日、第5回部会は2月23日に開催する予定である。
- 第2回企画運営会議は3月4日、全体会は3月19日に開催する予定である。
- 2月9日（月）に区民会議交流会を実施する。本部会からの出席者は、阿部委員、近藤委員、佐々木委員、西野委員、原委員の予定となっている。

以上